

一般社団法人 大学英語教育学会 (JACET)
中部支部
2019 年度 講演会・第 1 回支部総会

2019 年 6 月 15 日(土)

13 時 30 分～17 時 30 分

名城大学天白キャンパス 共通講義棟東 H202 教室

〒468-0073 愛知県名古屋市天白区塩釜口1丁目 501

地下鉄鶴舞線「塩釜口・名城大学前駅」下車

日 程

支部総会（13時30分～13時50分）

支部長挨拶

報告事項

本部報告

事業報告

審議事項

2019年度事業計画案

2019年度予算案

2019年度人事案

講演会（14時00分～17時30分）

開会挨拶 14時00分 支部長 石川有香(名古屋工業大学)

特別講演 14時00分～15時30分 司会 石川有香(名古屋工業大学)

プレゼンテーションを通じた効率的英語習得
野中アンディ(コミュニケーションスキル協会)

シンポジウム 15時40分～17時25分 モデレーター 村田泰美(名城大学)

英語プレゼンテーションをどう教えるか—指導と評価—

発表1
心に届くプレゼンテーションの為に

小口真澄 (MARBLES)

発表2
「祭り」の準備 —英語スピーチの学びをうながす実践共同体の演出—

三熊祥文(広島工業大学)

ディスカッション

閉会挨拶 17時25分～17時30分 副支部長 佐藤雄大(名古屋外国語大学)

特別講演

14 時 00 分～15 時 30 分

司会 石川有香(名古屋工業大学)

プレゼンテーションを通じた効率的英語習得

野中アンディ (コミュニケーションスキル協会)

講演概要

「英語が上手な人」を連想するなら、本来は「英語を話している人」のはずだが、実際は英語が得意だと言われる人でさえ、「英語を理解できる人」で終わっている。英会話をしているつもりが、自ら話しかける場面があったとしても単調な質問であることが多く、どこから来たのか、いつ日本に来たのか、日本についてどの程度好きか、などを聞いた後、「なるほど」だとか「本当？」で完結する場合が非常に多い。それを「英語が上手な人」だと表現するのは世界へ羽ばたく人材を育成する上で物足りない。相手から広がりのある質問をされた際に、英語で何分間も答えられることを可能にするため、論理と語彙を駆使した原稿を書き、それを伝える英語でのプレゼンテーション教育の有用性を提案する。

論理的構造は、日本語よりも論理的で低コンテキスト言語である英語を操るには必須である。なぜなら、プレゼンテーションを原稿から書く際に、introduction⇒ body⇒ conclusion という基本構造に加え、thesis statement や topic sentence を教えることで英語の論理構造を理解し使えるようになる要素が多いからである。同時にレトリカルな面を学ぶことで語彙が飛躍的に向上する。同じ単語を連続して使用することを嫌う特徴を理解すると、より英語らしい表現になるからである。また抽象名詞を使えるようになると母国語である日本語の会話にもプラスに影響する。

この“論理と語彙”を考慮して原稿を書き、それを完全に覚え、適切に発音し、実際に話すのが一連のプレゼンテーション教育となる。教員がすべきことは、学生が書く文章をより自然な表現に添削し、発音の矯正をすることである。すべて学生自身の考えを反映した情報であるため、原稿通りの使う頻度が高くなる。また話す内容を吟味する際に表現に配慮する中で文化的違いに触れることもできる。実際にプレゼンテーションを行ってきた経験を基に、その効果や学習者本人の意見を紹介しながら教育に取り入れる価値について議論する。

講師紹介

野中アンディ コミュニケーションスキル協会代表理事

日本通運での勤務を経てアメリカの大学院へ留学。カンザス大学(修士)、西南学院大学大学院(文学博士)。専門はコミュニケーション学。プレゼンテーション、対人コミュニケーション、異文化間コミュニケーションを研究。14年にわたり大学(関東学院大学、中村学園大学)で教壇に立ってきたが、社会人の需要の大きさを感じ、広く一般にこの学問を広げるため准教授の職を辞め独立。2017年4月1日より株式会社コムスキル代表取締役。2018年8月16日よりコミュニケーションスキル協会代表理事。

シンポジウム 15時40分～17時25分

英語プレゼンテーションをどう教えるか—指導と評価

モデレーター 村田泰美(名城大学)

発表1 15時40分～16時10分

心に届くプレゼンテーションの為に

小口真澄 (MARBLES)

発表概要

企業研修で行う「心に届くプレゼンテーション」演習で伝えていることをシェア致します。発声方法等のテクニックも必要ですが、一番大切なのは話し手がホットになれるものを伝えるということです。ホットなプレゼンの作り方、伝え方またそこへの導き方をその場で一緒に体験していただきます。

講師紹介

小口真澄 英語芸術学校 MARBLES 代表

聖セシリア女子中学校 English Express 講師、MIRAI Montessori International Kindergarten ドラマ 講師、Saisishya International School、ドラマ講師、NPO 法人魚沼産☆夢ひかり キッズ・ミュージカルプロジェクト 脚本・演出、with ME～夢が飛び出す絵本箱 脚本・演出、マーブルズ英語教授法「英語 DE ドラマ」をひろめるため全国的小中学校などでワークショップを展開。また企業研修、大学講師としても出講多数。

発表 2

16 時 10 分～16 時 40 分

「祭り」の準備 ―英語スピーチの学びをうながす実践共同体の演出―

三熊祥文（広島工業大学）

発表概要

英語プレゼンテーションを教えるには「祭り」が必要です。「祭り」とは「非日常」を参加者が意識する実践共同体において、「短・中期的ゴール設定」のもと特定の技芸の披露の応酬を期待される活動を立案、実行してゆく「コミュニティーの発展的再生産」と定義できます。日本における英語スピーチ活動は、明治以来 ESS のような英語スピーキングコミュニティーの存在と発展のプロセスと同居してきました。そこで行われるスピーチコンテストのような「祭り」がまさにスピーチを英語学習装置として機能させてきたのです。本発表では、教室と教室外の連結を視野に入れてスピーチ・プレゼンテーション活動を構想することが、教育効果に功を奏すと論じます。そこで求められる評価方法も提案できればと考えています。

講師紹介

三熊祥文 広島工業大学 教授

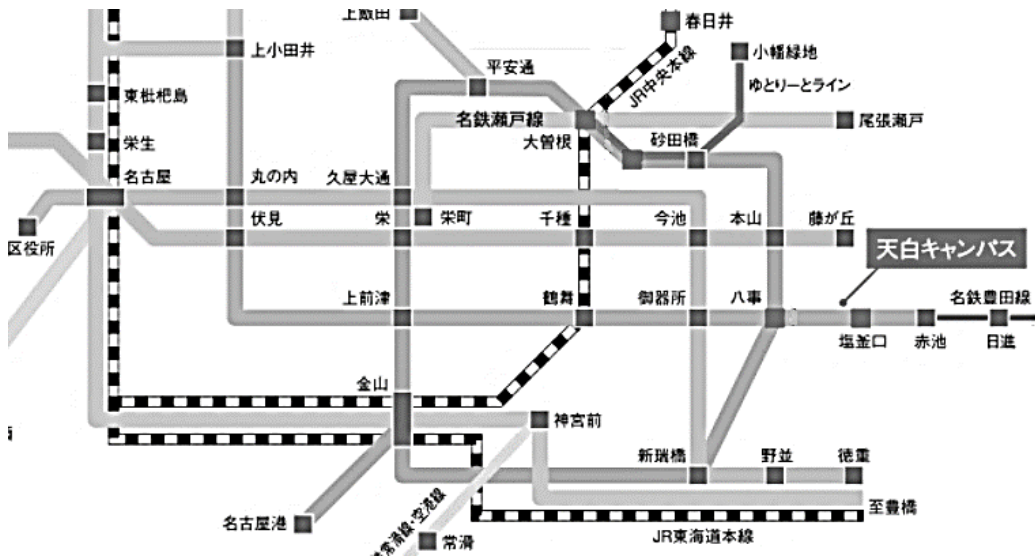
1962 年広島県生まれ。英語教育におけるスピーチコミュニケーションの応用を提唱・推進。大学院のプレゼンテーション実習科目を含む様々な英語科目を担当。博士(教育学)(広島大学)。コーチとして多くの学生を指導し、スピーチコンテスト出場、入賞へと導く。主著『英語スピーキング学習論―E.S.S.スピーチ実践の歴史的考察―』東京：三修社、2003。

会場アクセス

名城大学天白キャンパス 名古屋市天白区塩釜口 1-501

JR または地下鉄「名古屋駅」より地下鉄鶴舞線「塩釜口・名城大学前駅」まで約 30 分。

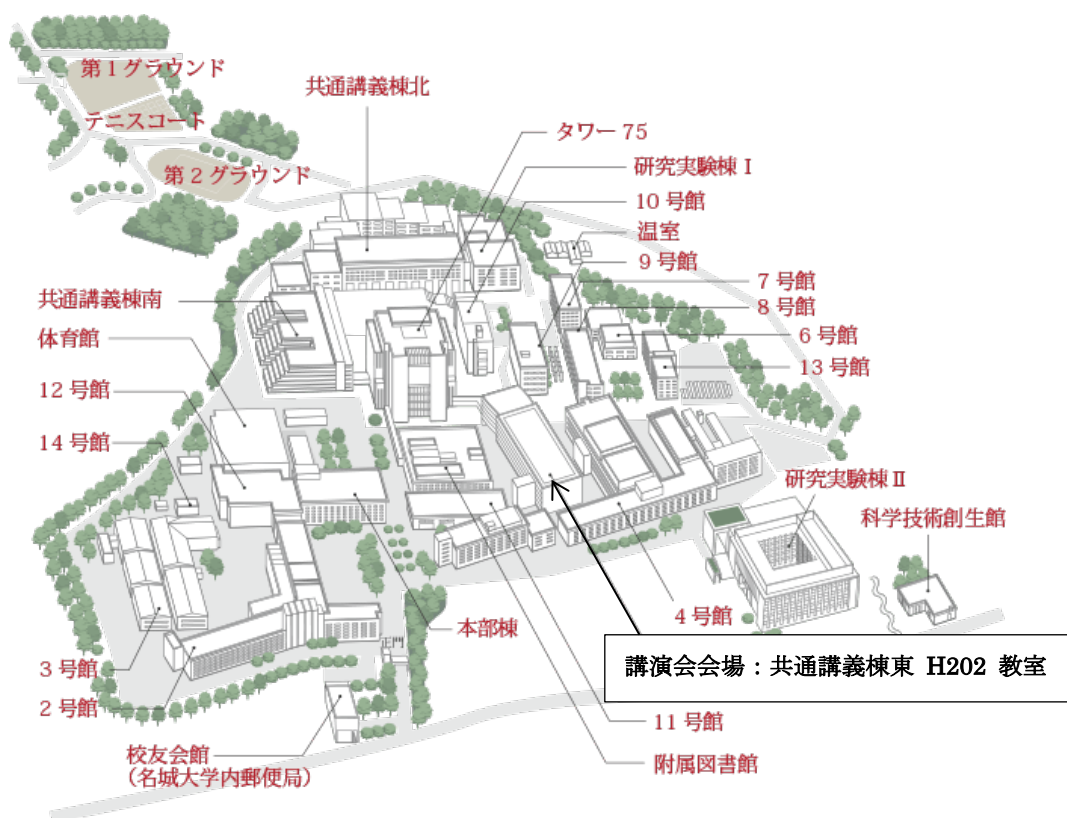
JR 名古屋（中央本線） → 鶴舞（地下鉄鶴舞線乗り換え） → 鶴舞線
 地下鉄名古屋（東山線） → 伏見（鶴舞線乗り換え） → 塩釜口・名城大学前
 地下鉄名古屋（桜通線） → 御器所（鶴舞線乗り換え）



地下鉄鶴舞線「塩釜口・名城大学前駅」下車、1 番出口より出て右へ進み、「名城大学前」交差点を右折、徒歩約 10 分で「共通講義棟東」。



名城大学 天白キャンパス 構内図



事務局からのお知らせ

- ☆ 駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。
- ☆ 当日、第3回中部支部役員会(12:00~13:00)を行います。役員は H205 教室にご参集下さい。
- ☆ 第58回(2019年度)国際大会は8月28日(水)~8月30日(金)に名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町)にて開催されます。
- ☆ 秋季定例研究会(2019年11月16日)は愛知大学名古屋校舎(名古屋市中村区)にて開催されます。発表申し込み期間は9月1日~9月30日です。詳細はJACET中部支部ホームページにて近日中に告知されます。

支部総会・講演会に関するお問い合わせは、JACET 中部支部事務局までお願いします。

支部事務局：豊田工業大学 伊東田恵研究室内

tae@toyota-ti.ac.jp